



*今月の花
山栗

花布のブラウス見つけた永康街
なつかしい時ながれる街

●報道・韓国発●

「三菱など 謝罪も補償もしない 日本戦犯企業の製品買いません」

勤労挺身隊ハルモニらと共にする市民の会



再開! 金曜行動

三菱は犯した罪から逃れられない

人道を捨てた「死の商人」三菱重工

三菱重工は 他民族をいじめ 日本国民に恥をかかせるな



三菱重工は犯した罪から逃れられない

【上】金曜行動再開 第6回風景
(9月14日、東京品川駅南口)
【下】金曜行動再開 第5回のチラシ

〔韓国〕ニューシス・八月二七日 (光州IIアン・ヒョンジュ記者) 独島をめぐる葛藤で、韓・日関係が激化している中で、日帝強占期の徴用被害者を助ける市民団体が、日本の戦犯企業を相手に不買運動を推進し、注目を受けている。三菱重工を相手に徴用被害者の賠償を要求している「勤労挺身隊のハルモニ」とともにする市民の会は、八月二七日、日本最大の戦犯企業である三菱グループの製品に

対する、不買運動を推進する方針
「勤労挺身隊市民の会は、三菱重工の高等裁判所で棄却され、最高裁判所へ渡った去る二〇〇七年七月から、日本内の市民団体である「名古屋三菱朝鮮女子勤労挺身隊訴訟支援会」と一緒に、会社側の自発的解決を促してきた。

「高年齢の勤労挺身隊の被害者たちは、今この瞬間にも、声をひそめ、世を捨てるように生活しているのに、大韓民国政府は日本の口だけを見詰めているばかりで、何一つ実行に移すものがない」とい、また、「韓・日政府双方から無視された被害者たちは、反日感情に頼った一時的なスローガンより、戦犯企業を相手に、責任ある措置を着実に要求するだろう」とも語った。

去る二〇一〇年七月には、これらの団体の粘り強い要求に、三菱重工が交渉を受け入れる前向きな姿勢を見せることもしたが、十六回行われた交渉でも誠意のない態度で一貫し、去る七月に交渉が決裂した。よって名古屋訴訟支援会は、名古屋へ東京まで往復七〇〇KMを超える距離を歩き来して行っていた「金曜デモ」を、二年ぶりに再開し、勤労挺身隊市民の会もまた、不買運動をはじめとする闘争のレベルを高めることを決定した。

市民の会の関係者は、



「同胞同族と日本の市民が集う追慕祭へ」
「冤死同胞慰霊碑」建立六四周年
・関東大震災八九周年記念追慕祭

九月一日、名古屋市の覚王山日泰寺境内の冤死同胞慰霊碑前で開かれた恒例の追慕祭で、同碑管理委員会の姜明求委員長が挨拶、同碑建立の経緯にふれた後、「当時のように同胞たちが同族として、また県・市の代表、日本の市民がともにする追慕祭を」と今後の抱負を述べた。

覚王山・日泰寺

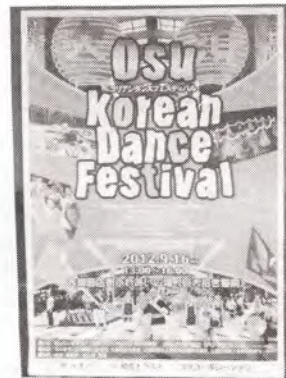
名古屋大須

『切ない限り…』

妨害行動による 交流イベント延期問題

実行委員会が声明

九月十六日の大須コリアンダンス・フェスのポスター



NPO法人コリアンネットあいちでは、多文化ネット「クミヨ(夢よ)」を立ち上げ、「知っていますか、在日コリアンのこと」をテーマに在日1世の文化を日本の社会へ向けて発信しています。

「その活動を大須でできないか」との提案で企画されたのが「大須コリアンダンスフェスティバル」です。

この企画は多くの在日同胞や日本人の方々、外国人の方々のご支援、ご協力により、本日まで着々と仕度を進めてまいりましたが、国家間の問題がリンクされ、この企画が攻撃的の的となつてしまいました。大須商店街連盟、名古屋国際交流課には抗議の電話やフアックス、メールが連日のように入り、当日には右翼団体の街宣車や妨害行動が予告されました。故郷を離れ、一生懸命に暮らすに在日外国人にとつて素敵な空間になりつつある大須で、私たちのさやかな企画を延期せざるを得ない状況です。

くつた現実、多文化共生を目指す私たちにとって切ない限りです。実行委員会では、たび重なる協議の上、「延期」を決定いたしました。

「秋夕」(チュソク)のチエサ(祭祀)や民俗遊びカンガンスルレを通して、コリアの文化を紹介するとともにみなさまとの交流をはかること、みんなで楽しく過すことが企画の目的です。

妨害行動によって、この目的が果たせない事が予測されること、子どもたちをこれ以上傷つけたくない事が「延期」の理由です。

大須商店街連盟をはじめ後援団体(名古屋商工会議所・愛知県国際交流協会・名古屋国際センター)のみなさまは、これからもこの企画を応援する立場に揺るぎないとおっしゃってくださいます。

新たな企画を再度練り上げようと思つています。

九月十四日

知っていますか? 「在日コリアンのこと」実行委員会

がんばれ！平壤宣言

十年の逆風こえて 日朝国交正常化へ

★十六頁に「宣言」全文あります。

日朝平壤宣言十周年。あらためて日朝国交正常化及び成熟した日韓関係を期し、幾人かの方々に寄稿いただきました。【編集部】

希望をもって見守りたい

石黒 正造
(ソムリエ)

去年の夏あるセミナーがあった。名古屋駅のホテルの一室で、二人程度の参加者。投資家のある証券会社が招待したのだ。元小泉総理大臣の秘書飯島勲さんのお話だった。小泉さんの主に外交の裏話を話

された。ブッシュ米国大統領、名前は忘れたが独首相、プーチン露大統領などと並んで金正日国防委員長がクライマックスで出てきた。もちろんピョンヤンでの話。この行動は日本であれこれ言われた。しかしどんな相手とも話し合う、相手の信頼をいかに得るか、糸口を見つけるか。何を引き出せるか、お互いの利益になるかを説いていた。小泉さんサイドでの利益と日本の庶民側とは少しずれるかもしれないが、いい宣言になった。グッド・ジョブだ。朝鮮は拉致を認め謝罪もした。一部の人々が帰国した。私たちはこの後の進展を期待した。しかし十年たってもこの宣言の文言は実

行されていない。このいい方向性を常に邪魔をする人たちがいたからだ。

しかし希望を持って見守りたいと思う。いいロードマップがちゃんとあるのだから。(ソムリエ)

「宣言」を反古にしたもの

水谷 正平

(雑誌編集者)

日本の首相が北朝鮮を訪問し、日朝平壤宣言に署名するのに半世紀かかりました。これは日本政府が朝鮮民主主義人民共和国(以下北朝鮮)という国家を認めず、ソ連圏崩壊後も北朝鮮は自滅し崩壊すると期待し続けていたからです。一方、北朝鮮は幾多の苦難を自力で乗り越えてきました。日本の首相が平壤まで訪れたことは北朝鮮がそれまでの圧殺政策に打ち勝ったとも言えます。宣言には「両首脳は、日朝間の不幸な過去を清算し、懸案事項を解決し、実りある政治、経済、文化的関係を樹立する」と書かれていました。ところが、署名のインクも乾かぬうちに、この宣言は反古とされ、宣言の理念と逆行した朝鮮封じ込めが継続され今日まで10年間も続いています。小泉首相は良くやったと思いますが、反対勢力の巻き返しですがそれを上回ったのです。反対勢力の宣伝材料となったものが拉致問題への朝鮮側の不誠実な態度でした。しかし、宣言には拉致問題を念頭に「双方は、相互の信頼関係に基づき」「諸問題に誠意をもって取り組む」ことが約束されていました。確かに、少女拉致等人道に劣る行為は北朝鮮への憎嫌悪感を増幅させました。その解決の誠実度は主観的なもので、不誠実だと主張されれば延々に平行線をたどるだけのものでした。そもそも、拉致問

題がなかったとしても日朝平壤宣言は反古にされたのです。アメリカは日朝国交正常化と東アジアの平和を嫌ったのです。アメリカにとって北朝鮮は常に、怖く、危険で、自由のない「ならず者国家」でなくてはならないのです。

小泉首相はアメリカの強硬な要求にそって宣言を反古にしたので、そして、「対話よりも圧力」「拉致問題の解決なしに国交正常化は無い」「北朝鮮は間もなく崩壊」と大合唱が続ぎ、広範な国民も共鳴してきました。

しかし、北朝鮮は崩壊することなく、拉致被害者家族は悲しみのまま年を重ね、何の進展も見出せませんでした。何と無駄な時間を過ごした10年だったことでしょうか。

植民地支配での「多大の損害と苦痛」は拉致と比較できるものではないと思われたでしょうが、それを口にするにはできませんでした。肉親強奪に涙する母親の声に過去の歴史は余りにも遠いものでした。時が経っているからです。

記念集会

和田春樹講師が提案 「新姿勢表明し、交渉体制へ」

日朝教育・文化交流を進める愛知の会が記念講演

九月十四日、名古屋市内で開かれた「日朝教育・文化交流をすすめる愛知の会」主催の『日朝平壤宣言十周年記念集会』で、和田春樹氏(東京大学名誉教授)が「同宣言の意義と日朝正常化の課題」と題し、講演した。

高校にたいする無償化措置の適用を表明し、交渉体制に移行すること。②拉致被害者の再調査と横田夫妻の訪朝、対朝鮮「制裁」措置の部分解除を一体的に進めること。③拉致問題交渉と国交正常化交渉は平行してすすめること。④国交正常化は日中共同声明方式で第三回首脳会談時に実施する。正常化後に経済協力協定を結ぶこと。

和田氏は二〇〇二年の同宣言にいたる歴代内閣の対朝鮮政策と日朝国交正常化交渉の経緯にふれると共に、同宣言以降の安倍内閣の対北対決路線とその「虜(とりこ)」となった民主党政府の対北政策を検証し、当面とるべき方策について次のように提起した。

①政府は、新姿勢(例えば、朝鮮

日も早く実現させること、を内容

とする「集会宣言」を採択した。「集会宣言」は政府に送られた。

「日朝教育・文化交流をすすめる愛知の会」は、朝鮮対外文化連絡協会を受け入れ先とする今年度の訪朝団を、十月(八日から十三日まで)に派遣する。

日朝芸術文化交流協会主催の「南北コアと日本のともだち展」が、十月二十六日(金) から二十八日(日)、名古屋国際センター(四階第3展示室)で開かれる。

なお、会期中の二十七日(土) 十時四十分から十一時三十分、同実行委員会事務局長の筒井由紀子さんが「絵画展によるこどもたちの交流とその諸活動の意義」と題して話す。

がんばれ! 平壤宣言

戦後67年の年月は多くのものを忘れさせました。加害者は被害者のように歴史を記憶に残しませんでした。従軍慰安婦も南京大虐殺もなかったと公言する戦後世代の政治家が台頭し、北朝鮮にも戦後賠償を!と声を上げる政治家は動きにくくなりました。後藤田や野中等がいた自民党の方がよかったと言った声も何度も聞かれました。過去の談話には日朝平壤宣言という「過去の植民地支配によって、朝鮮の人々に多大の損害と苦痛を与えた」という歴史の事実を謙虚に受け止める、痛切な反省と心からのお詫びの気持ちるを表明しなければならぬ、いやいやと認めが感じられました。

しかし、戦後世代にはこの認識は浅薄で、日朝現代史は無知に等しいでしょう。選挙後の新政権も益々反北朝鮮政策が踏襲されそうです。

がんばれ！平壤宣言

しかし、この宣言を有名無実にしてはならないと思います。宣言は読んでみると両国の知恵が練りに練られている文書となっています。両国政府と国民はこの

宣言をもう一度読み解き、初心に戻り日朝国交正常化に努力しなければならぬと思います。日朝協会の仕事はこれまで以上に大きいと思います。

平壤宣言の可能性

村上俊雄

(元熱田高校社会科教師)

改めて日朝平壤宣言を一読したて、排外的なナショナリズムにその感想は、よくこれだけのものが出れば火が着きかねない事態となせたものだということ。さらにいり、十年前よりきびしい。

え、この十年、両国の対応・政策はこの宣言から遠く離れてしまったものだと感じた。

「日本国民の生命と安全にかかわる懸案問題」(II 拉致問題)の解決は日本側による制裁路線が貫徹されているため一歩も進んでいない。日朝国交正常化の課題も拉致問題がデッドロックに乗り上げて

いるために全然進行していない。「北東アジア地域の平和と安定」の課題も領土問題をめぐって日朝(日朝)、日中関係がけわしくなっ

た。この宣言の提起をもとに、どう日朝、日本と隣国との関係、さらには北東アジアの平和、非核化を進めるかについて、三述べたい。

①過去の侵略の事実に対し「痛切な反省と心からのお詫び」を日本(国家)として、しっかりと行なうこと。領土問題が理性的な論議、利益の合理的解決にいたらないのは、侵略した側が過去の清算をきちりと行い得ていないことにある。特に日本においては侵略の事実を承認しながらない勢力に止(とど)めを刺すことが大事だ。過去の不法行為、侵略をどれだけ無視することに加害者の側が望んでも、事実は消えないし、被害者の側の怒りは拡大する。アメリカでは日系米人を強制収容した事実に対して政府は補償金を支払った。ソ連による日本人捕虜の強制労働に対して日本政府は不十分な補償をした。

②「日朝国交正常化」をめざす：旧ソ連、ロシアとは平和条約の締結は領土問題、日米安保条約などもあつて行われてはいないが外交関係はつくられている。戦後六七年たつても隣国との外交関係、経済交流が確立していないことはきわめて異常。解決の主導権は加害者側が取るべき。このことは拉致問題の解明・解決を放棄することではない。

③「北東アジアの平和と安全」をめざす：問題はあつたにせよ、日韓条約では経済援助を韓国に対して行った。同じことを朝鮮民主主義人民共和国(以下、北朝鮮とする)に対しても行うべき。北朝鮮における経済活動の進展、人民の政治参加の前進する時、北東ア

「慰安婦」解決は加害日本の責任

久野綾子

(旧日本軍による性的被害女性を支える会)

残酷極まりない日本軍性奴隷制による「慰安婦」問題こそ、緊急に解決させねばと確信します。

北朝鮮の人々が、この宣言をいま改めてどうとらえておられるか知りたい。(元熱田高校社会科教師)

植民地支配のもと強制連行、強制労働を皮切りに根こそぎすべての国民を、国土を破壊し尽くし、七〇年後の今なお謝罪補償を日本は実行していません。過去清算の象徴的な「慰安婦」問題は高齢になられた被害者たちの正義回復を、一刻も早くどうしても実現させねば、です。

加害国日本の責任であり、痛苦の渦中にある被害者たちに心から

のかわびこそ、人間としての義務だと思います。北朝鮮による拉致解決を日本が声高に要求しています。その前に戦時中、日本が実行した大がかりな拉致、多大な損害を与えた犯罪を謝罪し清算を即刻すべきです。

日朝ピョンヤン宣言が単なる言葉の羅列であつてはならない。真の解決への決意と行動を、改めて肝に銘じています。

◇在日一世・孤高裂帛の画家
「人間呉炳学の魂」

山川 修平

(作家)

東洋のセザンヌと呼ばれる呉炳学(オ・ピョンハク)。芸術は全てを越える。朝鮮籍の呉炳学画伯は二〇〇六年ソウル個展開催、今年二月豊橋美術館で八八歳大回顧展開催。NPO法人「三千里織道」等の協力によるものでした。

画伯はピョンヤンでの個展開催を夢見ています。

私との奇跡的な宿命の回路により、画伯八八年の壮絶な人生の哀

歎を執筆することとなりました。現在原稿用紙約五百枚の渾身力作が脱稿し推敲中です。来春三一書房より発刊されます。四月にピョンヤンへ行く予定の画伯は、最高のおみやげになると期待されています。

日朝ピョンヤン宣言十周年にあたる九月十七日の発刊に間に合いませんでしたが、来春発刊されます。ご期待ください。

対立の軌跡

佐藤 政憲

(近代史研究者)

驚きの小泉訪朝、平壤宣言から一〇年が経過した。核実験、ミサイルで北朝鮮が宣言を反故にしたと日本はいうが、拉致被害者五人が日本に一時帰国した後、一時帰国の約束などなかったとい、最初の背信をしたのは日本であった。宣言を履行していれば、様相は一変していたであろう。その後は

制裁一辺倒である。イランにしては、もそうであるが、制裁で事態が好転することはない。天秤にかけるとは難しいが、北朝鮮の拉致と壬辰倭乱、植民地時代と無数の人々を拉致したのは日本である。まず、その認識から始めるべきであろう。

東アジアの非国家都市
共同体を構想する

三浦 悦夫

〈昭和区〉

二〇〇二年以来毎年、手帳の切替の時期になると「日朝平壤宣言」をコピーして新しい手帳に貼付けていた。そして朝高無償化問題やロケット問題が出るたびに虚しく手帳を開いていた。また横田夫妻

らを食い物にしてきた歴代政権や勢力とマスコミに怒りの思いを巡らすたびに、「日朝平壤宣言」という手帳の位牌に手を合わせざるを得なかった。

昨今の領有権問題ではコノ国と

がんばれ! 平壤宣言

がんばれ! 平壤宣言

対北強硬政策のアノ国の政権基盤の脆弱さをさらに露呈した。米軍オスプレイは試験飛行と称して先ほど岩国基地を飛び立ち日本海空域にだつた。東アジアの構造的不安定性を米中で増幅させている。

韓国の識者によれば、東アジアは地理的に固定された境界や構造を持つ実態でなく、この地域を構成する主体の行為によって流動する歴史的構成物である、の指摘もある。また分断された朝鮮半島が

世界レベルの覇権的支配体制の重要な結節点であるだけに、ここでの変革が世界レベルの抑圧体制に對する攻撃になると同時に、資本主義世界体制の変革の触媒になりうることもまでも。

コノ国の政権もアノ国の政権もそのうちに終わる。この九月初旬、娘と初めてソウルに行った。鐘路三街駅からの古い町並みと地下市場にまぎれ込み貴重な時間をすごした。たぐさんの生鮮食料品店、穀物屋、酒屋、金物屋、雑貨屋、食堂も何軒か入った巨大な市場で、働くオモ二たちの姿、扇風機でかくはんされる温度と匂い、それは

小説の一ページの風景だつた。

龍山から湯陽温泉駅へあこがれのセマウル号に行き、ソウルの胃袋を支える農村の景色に浸る大雨の一日もあつた。山々は穏やかに稲穂がたわわに実つていた。どこの市場でも食堂でもバスの運転手も韓国の人々はみんな落ち着いていた。

さて「日朝平壤宣言」の精神から何を学んでどう発展させるか? 論はもうそこまで来ている。

日朝文化交流の十年間

石黒 真知子

(作詞家)

日朝間の文化交流は目立って印象に残る出来事はなく、国交正常化の厳しい道のりを感じた一〇年間であつた。

「韓流ブーム」の後押しもあり韓国との交流は活発に行われたものの、それは朝鮮半島全体に広がる理解・交流までには押し上げていない。むしろネット右翼と呼ばれる、無知故の無節操な動きが出現

三党合意の党か維新の会かという政治絶望の時間はない。国民国家形成(改革)作業への市民参加は不可欠。地域にはさまざまなバラバラと不一致はあるだろうが、国家間利益の衝突とはまったく違う方向での転換は可能であらう。

東アジアの非国家都市共同体構想とその発展にまで踏み込んだ議論はもうそこまで来ている。

したことは、国の対朝鮮政策を反映したものと思われ。朝鮮高校の学費無償化運動を共

有する視点で作られた日本の詩人たちのアンソロジー(〇一)は注目すべきものがあつた。名古屋では昨年、日朝文化・芸術交流協会が発足して文化面での共同の取り組みが行われた。まだまだ小さな動きであるが、絶やすことなく、

新しい世代にバトンを渡して行きたい。

羅刹の口から出た 眞実の言葉

廣 瀬 務

(眞宗大谷派僧侶)

今、日中・日韓の關係は領土問題でギクシャクしています。領土問題は国民をナシヨナリズムに駆り立てて、内政問題から目を逸らせる効果があります。殊に尖閣列島では、軍事衝突すら懸念されま

す。日本の政府はこのような緊張關係を利用して集団的自衛權を認めるよう解釈改憲をし、更には憲法改悪を目指す動きがあります。七年前、靖国に参拝して中国との間に激しい緊張關係を作つたの

が小泉純一郎です。小泉は、今日の格差社会の原因を作り、また靖国神社の公式参拝を繰り返して日中間の友好関係を破壊するなど、悪政の限りを尽くしました。その小泉純一郎が首相就任の一年後に、突然訪朝して締結をしたのが、日朝ピョンヤン宣言です。

仏教説話に、「羅刹(人食い鬼)が真理の言葉が発し、それを聞いた修行者が自分の身体を真理のために羅刹に与えようとした、その修行者が命を全うして悟りを開いた」という話があります。小泉は東アジア友好の破壊者ですが、小泉訪朝をお膳立てした仲介者の願ひにより、歴史に名を残したのが「日朝ピョンヤン宣言」だと思います。

ヨーロッパでは、過去数世紀にわたって戦争を繰り返してきたドイツとフランスが、今ではEUの指導国として信頼し合って進んでいます。その前提には、先の大戦におけるドイツの戦争犯罪の徹底した追及、厳しい反省と深い謝罪、その上に立つ和解、そしてその後の相互信頼の積み重ねがあります。日本の場合、戦後戦争責任の追

及があいまいなままで旧勢力が政権を握り、大日本帝国の再興を目指しているかのようです。今の政府の態度は日朝関係については、拉致問題にのみ焦点を当てて大宣伝を繰り返して、他の日朝間の問題には一切触れようとしません。これは世界の常識では通用しないことです。

一方、従軍慰安婦の問題はなかつたとして議案しようとしないう。これも世界の常識では通用しないことです。

そのような日本政府の態度を、容認している日本国民の意識はどうなっているのでしょうか。それはまさに、「日本ムラの恥は外に出したくない」というムラ意識です。

国家神道とは、神風特攻隊という自爆テロを生み出した原理主義宗教です。その国家神道に集団催眠術をかけられていたのが、わたしたち日本人です。早く催眠術から覚醒して批判精神を取り戻し、「日本ムラ」を飛び出して、世界の常識が通用する世界人になりましょう。

私達の日本は、東アジアの国々

と友好を深め、東アジア共同体を目指すべきだと思います。そのために日本の戦争責任を具体的に明確にしていきましょう。

名古屋地方には、大府飛行場の中国人強制連行問題や、三菱重工の朝鮮女子勤労挺身隊問題等多くの未解決の問題があります。それを私たちが、学び、謝罪し、そしてその人たちと連帯を深めましょ

う。

その出発点になるのが、国家間の公文書である「日朝ピョンヤン宣言」だと思います。

日本は、「日朝ピョンヤン宣言」の精神に従って、静かに過去を懺悔しましょう。

「無慚愧(むざんき)」は名づけて「人(にん)」とせず、名づけて「畜生(ちくしょう)」とす

もしか国交があつたなら

栗本 伸子

〈千種区〉

もし十年前の宣言どおり、日朝国交正常化に向かつて誠実に事が運ばれていたなら、幾つかの紆余曲折はあつたにしても、少なくとも国交正常化だけはできていたと思います。国交があれば、いろいろな窓口が開かれ、多面的な付き合いができる筈です。日本人の拉致問題も、政府間交渉を継続させると共に、いろいろな手段で調査したり情報を得たりできたのでは

ないでしょうか。日本人妻の里帰りも、文化交流も、観光も一歩、二歩すすみ、私も生きているうちに懐かしい場所を訪れることができたかもしれせん。政府、財界、民間の多様な往来、顔の見えるおつき合いが、何よりの平和の保障だと思います。もしかすると、それを妨げるために国交正常化を阻む勢力が画策したのかと勘ぐりたくもありません。

がんばれ! 平壤宣言

遅きに失しましたが、めげずに
国交正常化の一步を再度ふみ出す
べきだと思います。今回の政府間
の話し合いに多少の望みをかけて
います。

日朝国交回復は 私たち世代の責務

貫井 正之

(NPO法人「フレンド・アジア・ロード」理事長)

「温故知新」(故きを学び、新
しきを知る)は、私の好きな成句の
一つです。

一五九二年、豊臣秀吉は一方的
に朝鮮を侵略し、両国の親善関係
を断絶させました。戦後、両国為
政者たちはわずか九年で国交回復
を成し遂げました。彼らの努力と
卓見に敬服します。その後、二・
五世紀にわたり両国は平和な関係

を続けたのですから。

一九四五年、朝鮮は日本から解
放され独立国となりますが、すぐ
に南に大韓民国、北に朝鮮民主主
義人民共和国が成立しました。分
断国家のスタートです。一九六五
年、日本は韓国と「日韓条約」に
より国交を回復しました。解放後
二〇年目のことです。この間、両
国間には多少の波風はありますが、
現在の盛んな往来は目を見張らせ
ます。民間交流こそが両国のしつ
かりとした防波堤をなしているの
です。

片や、共和国とは建国後半世紀
以上たちますが、日朝両国の不正
常な関係は変わりません。自由な
交流は閉ざされたままです。二〇
〇二年、やっと「日朝宣言」が発
表され正常化の兆しが見え、その
成就が期待されました。しかし、
残念ながら交渉は「進展なき二〇
年」でした。

日朝両国の国交回復は政治家・
担当者だけに委ねるのでなく、現
代に生きる私たち世代の歴史的・
政治的責務として結実させなけれ
ばなりません。東アジア世界の安
定と繁栄のために。

がんばれ！平壤宣言

平壤宣言に立ち返り、一日 も早い国交正常化実現を

—平壤宣言以後の朝鮮における音楽芸術の動きと合わせ考える—

齋藤 真

(中部大学 教員)

日朝平壤宣言から十年が経った
が、未だ国交正常化早期解決には
程遠い状況となっている。国交正
常化実現後行おうとしていた日本側
からの資金協力や人道主義的支援
もなされないまま、今日に至って
いる。

この平壤宣言、実は二〇〇三年
十月三十日と三十一日の二日間に
わたり「NHKラジオハンゲル講
座」にて「漢字語を読む」目的で
全文取り上げられている。当時の
テキストでは朝鮮民主主義人民共
和国(以下「朝鮮」とする)で使
用されている文字表記で書かれて
おり、実は大きなポイントである。

平壤宣言日本側署名者の小泉首
相は、金正日総書記逝去の報に接
し、一早く総聯中央本部を弔問し
たが、やはり国交正常化を進めた
かったのだという思いが伝わって
きたのと同時に「小泉政権」後の

国交正常化への取り組みのなさに
怒りを感じる。

ところで、この十年間に朝鮮の
音楽は大きな変貌を遂げている。
九一年来日の「普天堡電子楽団」
は二〇〇三年ごろにかけて精力的
に活動していたが、その後五年間
ほどの空白時期があり(実際には
活動していたのかもしれないが、
この間の資料が入手できないため
にそのように判断している)。二〇
〇八年初頭より新グループ「普天
堡《銀河水》」「国立交響楽団と《銀
河水》」が登場し、若手歌手や交響
楽団指揮者を初めて目にするこ
とになった。

この《銀河水》は当時四名の女
性歌手を指していたものと推察さ
れるが、その後二〇〇九年十月に
「銀河水管弦楽団、万寿台芸術団、
三池淵楽団の共同公演」において
金正日総書記が高く評価し、現在

まで続く「銀河水管弦楽団」の基礎ができていったものと思われる。《銀河水》と《銀河水管弦楽団》は最近も双方ともに公演題目でみられるが、恐らく前者は新進気鋭の芸術家集団を指し、後者は総合音楽芸術団体としての楽団を示しているものと思われる。

ちなみに日本のマスコミでは金正恩第1書記の夫人、李雪主氏が二〇一一年の《銀河水》公演で歌声を披露していると報じているが、二〇一〇年の公演で歌っている映像資料が私の手許にある。このことから、金正日総書記逝去のだいぶ前から金正恩第1書記がある程度は音楽創造分野に関わり、外国の音楽大学で学んできた優秀な人材を積極的に登用するようになってきたのではないかと考えている。

また「銀河水管弦楽団」では様々な楽器編成や編曲法を試みており、公演ごとに楽器や編曲について若干の違いが見られ、日々変化している姿を醸し出しているような点は興味深い。

さらに二〇一二年七月には「牡丹峰楽団」が登場。「銀河水管弦楽団」同様の楽器編成や編曲のみならず、電子楽器や舞台構成、演出そして米国アニメや映画音楽を忠実に再現するなど、目が離せない状況となっている。

「銀河水管弦楽団」「牡丹峰楽団」ともに演奏会形式は観衆に開かれた構成で「聴衆とともに音楽を楽しむ」ことを最大の目標にしている。

近の金正恩第1書記の動静で常に人民の中に入っていく姿も重要なことである。

新たな楽団構成メンバーの多くは二〇〇三〇代が中心とみられるが、留学をはじめとする教育を受けた時期が二〇〇〇年代上半期とすると、やはり平壤宣言がなされた二〇〇二年ごろから朝鮮が世界の国と更に関わりを持つようとしたことがうかがえる。

実はこの十年間、朝鮮でも大きな変化がこの音楽分野一つとって見られたのであるが、さて、日本はどうであったか。

開かれた国を目指すであろう金正恩第1書記の時代となった貴重な機会を逃さず、日本は国交正常化に積極的に取り組むべきであろう。

庶民の力で変えていく!

川瀬 まゆみ

(人業〈ひとわざ〉劇団ひらき座代表)

ができるかということテーマに芝居をつくり続けています。

今日日本では、権力者に都合の良い情報だけを垂れ流すマスコミに毒され、お隣の国の人たちを罵ることでは自分の存在価値を見いだせない寂しい人たちがいっぱいつくり出されています。私たちはちっぽけな劇団ですが、国籍や人種や障がいのある無など、いろんな「違い」のある個人が、芝居づくりや上演を通して、理解し合い連帯していけるようなとりくみをひろげています。

この間、在日韓国・朝鮮人の方々と関わって創った芝居が3本。在日の様々な方々から教えを請い、済州島のプンムルのグループとも交流がはまりました。在日の仲間も入団しました。国家や政治がもたついているなら、庶民の力で変えていく！なんて心意気で、明るい未来を夢見ながら、厳しい現実もみつめつつ活動しています。今年十二月一日(土)、二日(日)にちくさ座で「蛾璃馬亜訪日騒動見聞録(ガリバーがやってきた!)」を上演します。ガリバー旅行記で有名なあのガリバーがなんと発事

がんばれ! 平壤!

がんばれ! 平壤宣言

故後の日本にやってきたという設定です。一体どうなることか?乞うご期待!

一日も早い国交正常化を

見崎 徳弘

(元高校教員・あいち九条の会代表世話人)

一九六〇年の春、たしか中学の卒業式直後に赤十字の船で北朝鮮に帰って行った同級生がいる。日だが、メディアが伝えるかの国

つかりした生徒でクラス委員もしいの近況は「指導者独裁の先軍政治

ていた。「今度、一家揃って祖国にの下、核兵器やミサイルに固執

帰ることになりました」という別て国際的にも孤立を深め、国民は

れの挨拶で初めて彼女が在日と知貧困と飢餓に苦しむ悲惨な国」の

つたが、二、三年後に級友に届いイメージが強い。「拉致」「脱北者」

た近況報告が同窓会で回覧されたのニュースも悲しく、あんな国は

時、「祖国ではラテン語を勉強した早くつぶれると悪罵を投げつける

りして元気に暮らしています」と者も少なくない。しかし、朝鮮民

あつて驚いたことも思ひ出す。彼族の苦難の源には一九一〇年の韓

女はその後どんな人生を送ったの国「併合」をはじめ長年にわたる

だろう。日本の侵略の歴史がある。北南に

あれからしばらくの間、例えば分断され、同一民族が血で血を洗

―例えば八月一日のNHKスベシャル「終戦―なぜ早く決められなかったのか」を見てほしい。あの番組は衝撃だった。既に六月時点で「ソ連参戦必至」の情報を掴んでいた軍部が自己保身から御前会議に上げず、結果的に戦争終結を遅らせて原爆投下やソ連参戦を許した事実を、確かな資料に基づいて告発したのだ。歴史に「もし」は禁物だが、もし七月終戦だったら朝鮮半島の分断も朝鮮戦争も避けられたであろう。

これをふまえれば、戦後、東アジアに向き合うべき日本の姿勢が過去の罪深い歴史にきちんと向き合い、その責任を全国民が共有し、必要な謝罪と賠償を行ない、二度と過ちを犯さないと誓うことにあるのは明確だ。

日本国憲法の前文や9条にもその精神が込められていると思う。だが戦後の「冷戦」下にアメリカの世界戦略に組み込まれた日本は、天皇の戦争責任が不問に付されたこともあってドイツのような戦後処理が出来ず、韓国や中国ともしばしば「歴史認識」問題で衝突した。進行中の自民党総裁選が示すように歴史の真実を捻じ曲げ、反省や謝罪を「自虐史観」と攻撃する者まで現れ、領土問題に見るように時に偏狭なナショナリズムに世論が雪崩を打つ危うさすらある。「太陽政策」の金大中の熱意で実現した二〇〇〇年の南北首脳会談や、サッカーWカップの〇二年日韓共同開催などを経て結ばれた十年前の「日朝平壤宣言」は、そんな中で日本と北朝鮮のトップが初めて相まみえ、直接署名した画期的な共同宣言だった。日本では、金正日総書記が拉致を認めて謝罪し被害者五人の帰国につながったことが最大の関心事となり、全体像はかすんだ感があるが、実際は両首脳が日朝間の不幸な過去を清算し、懸案事項を解決し、実りある政治・経済・文化関係を樹立することこそ双方の基

本利益、との共通認識にたつて「国交正常化」に誠意をもって取り組むとした総合的な宣言だった。そのために宣言は、①日本側が

過去の植民地支配に対して痛切な反省と心からのお詫びを表明し、
 ②過去の清算では(日韓協定同様)互いに請求権を放棄し、代わりに国交正常化後の無償資金をはじめ幅広い経済協力を約束した。同時に、③朝鮮側は「拉致」の再発防止を約し、④北東アジアの平和と安定のために双方が協力関係を強め、核・ミサイル問題でも国際的な合意と対話を重視するとした。まさに画期的な宣言だった。僕は小泉首相の政治姿勢には断固として反対だが、この宣言は高く評価したいと思う。

《3》

だがこの共同宣言は、下されるべき正当な評価が「拉致」問題をめぐる狂信的な反北活動家や政治家などの主張に蹴散らされ、首脳会談をお膳立てした外務省の田中均・アジア太平洋局長まで猛烈なバッシング対象とされた。この辺の事情は、当時、拉致被害者家族会の事務局長を務めていた蓮池透氏の証言(○九年五月、かもがわ出版『拉致——左右の垣根を超えた闘いへ』)に詳しいが、この狂騒

が北朝鮮の日本不信を招き、小泉首相の熱を冷まし、のち安倍政権の対北「圧力」一辺倒に直結して、○四年五月の第二回日朝首脳会談のあと、共同宣言は事実上「凍結」されてしまった。国連加盟一九〇余力国のほぼすべてと国交を結ぶ日本が、約一六〇カ国と国交がある隣国・北朝鮮とは深い断絶状態にあり、「北」の核開発に関して設けられた「六カ国協議」でも対話もできない不正常が今なお続いているのだ。何たる不幸！と言わなければならない。

日本は憲法九条をもつ国である。その真価を活かすには「凍結」された宣言がなお有効と確認し、そこに立ち返って誠意ある対話を始める以外にない。あれから十年——「拉致」被害者家族会も、今は経済制裁一辺倒では道が開けないことに気づいていると思う。北の指導者も若い金正恩氏に代わり、従前の強硬姿勢が変わる兆しもある。「共同宣言」を蘇生させ、一日も早い国交正常化を図って、韓国同様、官民の交流が自由に活発にできる関係を切り拓かなければならない。

それが可能となつて、いつの日にか、同級生の岩本妙子さんによくつくり会えたら最高だと思ふ。

め反省と謝罪を表明しています。つまり、これが交渉の最重要の前提であることを確認しているのです。にも拘らず、日本政府がこれを誠実に履行していないことが、国交正常化を妨げている最も大きな要因です。

軍慰安婦をはじめ、強制連行強制労働の被害者に対して、本来であれば国が加害事実を積極的に調査認定し、謝罪と補償を行うべきであるのにしないので、被害者は裁判に訴えるしかなかったのですが、ほとんどが敗訴に終わっています。

本誌でも毎号取り上げられている名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身隊訴訟の原告の皆さんも例外ではありませんでした。最近では、歴史改ざん主義の国会議員たちは、謝罪しているとの免罪符として政府が使っている河野談話さえ否定しようとしています。

日朝国交正常化の進展を妨げているものは何か

寺尾 光身

(埼玉県八潮市)

小泉政権による政治で私が「よし」と評価できることは皆無でした。唯一の例外がこの日朝ピョニヤン宣言でした。しかし、その後の展開は私たちの国交正常化の

強い願いを裏切るものでした。宣言第一項では双方が誠意をもつて取り組むとの当然の基本姿勢を確認していますが、続く第二項の冒頭で、日本は加害の事実を認

私にはまったく理解できません。

がんばれ！ 平壤宣言



がんばれ！平壤

最近、竹島・独島で韓国と、尖閣諸島で中国と深刻な軋轢をもたらしているのも、日本が過去の侵略の歴史を忘れ、誠実な対応を行わないところに根本原因があるのです。ほとんどのマスコミとタレント評論家が「固有の領土論」という政府見解を無批判に垂れ流し、誤った認識を国民に刷り込んでいくのが、今の日本です。前大戦中の大本営発表と全く変わらない、憂慮すべき事態です。

日朝の話し合いは始まったばかりです。日本の現状を考えると前途多難ですが、歴史の真実を曲げるわけにはいきません。日朝の国交回復は東アジアの平和にとっても不可欠です。国交回復の早期実現のために、また、私たちの名譽と尊厳のためにも、日本を間違つた道から引き戻し、過去の清算を正しく行うよう、声を上げ続けましょう。

国交断絶の中のわが家

①

金 宗 鎮

〈千種区〉

日本帝国の植民地支配から解放された、あの歓喜の日からはや七〇年になろうとしている。

しかし祖国は分断されたままに、日本とは未だに国交が開かれていない。その暗い影は在日朝鮮人の社会生活をおおっている。

私のおば家族は南の故郷に帰り、音信が途絶えた。弟は朝鮮民主主義人民共和国に帰国して、新

きた。息子たちも朝鮮大学校に学び、結婚して新しい家庭をもった。孫も生まれ今や十三人の家族である。

在日四世の孫たちの世代になっても、祖国の分断と日朝国交断絶は変わらなかつた。いやそれどころか、南北の対決は以前にもまして、その様相を険しくしている。

日本政府の南とだけの国交樹立は、在日朝鮮人社会に作為的な分裂を深めた。在日同胞は朝鮮人から、「朝鮮籍」から「韓国籍」に分別された。また朝鮮人学校の存続を許さない政策をもって在日の基本的人権、アイデンティティーをふみにじった。それは植民地支配の政策的本質、「民族的存在の否定」の姿を変えた政策であった。

戦後日本の民主主義は国を大きく変えたが、アテネの民主主義のように、在日朝鮮人に対しては排他と差別を日常とした。

在日朝鮮人の人権を認めない典型が、朝鮮学校への弾圧と差別である。学校として認可しない、卒業生の学歴を認定しない等々から現在の高校無償化から除外する国の政策に、多くの朝鮮人生徒とそ

の父母はどれだけ苦しめられたとか。

そもその原因は、日本政府が朝鮮の植民地支配を謝罪・清算しないことにある。植民地支配は、「合法」で「近代化に貢献」とする日本の歴史認識は、在日朝鮮人への政策に転換をもたらすことなく、朝鮮蔑視の国民意識を温存してしまつた。

植民地支配の清算のないままに、東西の冷戦に入り、日本政府は朝鮮民主主義人民共和国との新たな敵対 関係に積極的になつた。やがて朝・米の核対決が強まると、「朝鮮つぶし」に加わることとなる。朝鮮植民地支配への国家的反省が無いことは、植民地支配時代に創出された朝鮮民族劣等視のいわれなき国民意識の払拭をもたらすことはなかつた。

これは「鬼畜米英」の国民意識が友好意識へと教育されたこととは、実に対称的な政治文化現象である。

日本国民は戦争加害、植民地加害を語ることを忘れ始め、多くの場合、戦争被害のみを語り、その視点で戦争のない平和を語るよう

になった。朝鮮の被害、在日朝鮮人の被害は、もはや忘れたかのようだ。

私たちが在日朝鮮人への過去の清算は国家の政策になり得ず、広い国民の関心の外に置き去りにされてしまった。

日朝国交正常化の画期となる「日朝共同宣言」が、十年前ピョンヤンで発表された。

ピョンヤン近くの南浦市に住む、私の弟家族は、「国交正常化」へ進めば日本にいる親族たちと自由に往来が出来る喜びをかくさなかった。

二度目の小泉訪朝時には、「今度こそは」と期待をにじませていた。しかし拉致の件で逆に日本政府の制裁が強まり、私たちの朝鮮訪問もきびしくなった。

在日同胞の日常にも、日本の制裁と対朝鮮非難が広まりをみせ、在日にも変化がおきた。

外国人登録の国籍の「朝鮮」から「韓国」への書き換えが一気に増加した。私の時代には1%にもならなかった朝鮮学校生の「韓国籍」が今や大半を占めている。

わが家も全員の「朝鮮」から「韓国」「日本」と「多国籍化」してしまった。ちなみにロンドン・オリピックの声援も多国籍化した。私もレスリングの吉田選手に心からの声援を送った。毎年ピョンヤンに民族舞踊のレッスンに行く孫娘は「朝鮮」のままであり、日本の公私立で学ぶ孫たちは「韓国籍」に変えた。おかげで、つい最近の九月に「韓国籍」の孫娘はポストンの私立高校に入学するため渡米する。

息子の一人はビジネス上、北京、台北、米国に出かけるが、「朝鮮」のままではハードルが高すぎると、「韓国」も一時考えたが、もう一つジャンプして日本国籍に変えてしまった。(つづく)

○字数に制限なし
○締め切り十月二十日
○宛先 事務局 (末貞欄外参照) にメールかFAXか郵送で

【引き続き、「奇稿をお待ちします」】

○平壤宣言十周年・日朝関係の正常化問題をテーマに

がんばれ！平壤宣言

平壤宣言街頭宣伝行動に参加下さい
9月29日(土) 午後1時~2時
場所 栄バスターミナル前

記憶の向こうへ消してはならない・・・
ピョンヤン
平壤宣言10周年対話集会

時代をつくるために参加者全員で討論しましょう。

10月14日(日)
13:30~
場所 名古屋YWCA

発題者 韓 基徳 さん
磯 貝治良 さん

主催 「韓国併合100年」東海行動 実行委員会
連絡先 名古屋市昭和区鶴舞3-8-13 労働文化センター2階 Tel. 052-731-7517

「不幸な過去を清算し」「実りある政治、経済、文化的関係を樹立する」「国交正常化を早期に実現する」。これは、私たちの言葉ではない。二〇〇二年九月に、日本政府と朝鮮民主主義人民共和国の間で

交わされた日朝平壤(ピョンヤン)宣言の言葉である。だが、この宣言が履行されたことは一度もない。行われてきたことは外交断絶、拉致批判、朝鮮高校無償化排除、従軍慰安婦問題や植民地支配を歴史から消去する動きであった。

平壤宣言は、自公連立政権時代に結ばれたが、朝鮮政策は民主党政権下でも何ら変わりが無い。社会からこの平壤宣言は忘れ去られようとしており、共和国パッシングが国是であるかのような風潮がある。私たちは、この平壤宣言を記憶の向こうに消してはならない。

一〇周年を迎えた今年、あらためてこの時代(とき)を出発点として何が出来るのか、どうしたら生かせるのか、一人の人間として、また市民運動の責任として、あらためて考えていかなければならない。対話の中から和解を、和解の中から平和を私たちはどのように築いていくのか、十周年を記念して今後の運動のあり方を考えます。

なお九月二十九日に、平壤宣言街宣を行います。ぜひご参加下さい。

参考

日朝平壤宣言

小泉純一郎日本国総理大臣と金正日朝鮮民主主義人民共和国国防委員長は、2002年9月17日、平壤で出会い会談を行った。

両首脳は、日朝間の不幸な過去を清算し、懸案事項を解決し、実りある政治、経済、文化的関係を樹立することが、双方の基本利益に合致するとともに、地域の平和と安定に大きく寄与するものとなるとの共通の認識を確認した。

1. 双方は、この宣言に示された精神及び基本原則に従い、国交正常化を早期に実現させるため、あらゆる努力を傾注することとし、そのために2002年10月中に日朝国交正常化交渉を再開することとした。

双方は、相互の信頼関係に基づき、国交正常化の実現に至る過程においても、日朝間に存在する諸問題に誠意をもって取り組む強い決意を表明した。

2. 日本側は、過去の植民地支配によって、朝鮮の人々に多大の損害と苦痛を与えたという歴史の事実を謙虚に受け止め、痛切な反省と心からのお詫びの気持ちを表明した。

双方は、日本側が朝鮮民主主義人民共和国側に対して、国交正常化の後、双方が適切と考える期間にわたり、無償資金協力、低金利の長期借付供与及び国際機関を通じた人道主義的支援等の経済協力を実施し、また、民間経済活動を支援する見地から国際協力銀行等による融資、信用供与等が実施されることが、この宣言の精神に合致するとの基本認識の下、国交正常化交渉において、経済協力の具体的な規模と内容を誠実に協議することとした。双方は、国交正常化を実現するにあたっては、1945年8月15日以前に生じた事由に基づく両国及びその国民のすべての財産及び請求権を相互に放棄するとの基本原則に従い、国交正常化交渉においてこれを具体的に協議することとした。

双方は、在日朝鮮人の地位に関する問題及び文化財の問題については、国交正常化交渉において誠実に協議することとした。

3. 双方は、国際法を遵守し、互いの安全を脅かす行動をとらないことを確認した。また、日本国民の生命と安全にかかわる懸案問題については、朝鮮民主主義人民共和国側は、日朝が不正常な関係にある中で生じたこのような遺憾な問題が今後再び生じることがないように適切な措置をとることを確認した。

4. 双方は、北東アジア地域の平和と安定を維持、強化するため、互いに協力していくことを確認した。

双方は、この地域の関係各国の間、相互の信頼に基づく協力関係が構築されることの重要性を確認するとともに、この地域の関係国間の関係が正常化されるにつれ、地域の信頼醸成を図るための枠組みを整備していくことが重要であるとの認識を一にした。

双方は、朝鮮半島の核問題の包括的な解決のため、関連するすべての国際的合意を遵守することを確認した。また、双方は、核問題及びミサイル問題を含む安全保障上の諸問題に関し、関係諸国間の対話を促進し、問題解決を図ることの必要性を確認した。

朝鮮民主主義人民共和国側は、この宣言の精神に従い、ミサイル発射のモラトリアムを2003年以降も更に延長していく意向を表明した。

双方は、安全保障にかかわる問題について協議を行っていくこととした。

日本国
総理大臣
小泉 純一郎

朝鮮民主主義人民共和国
国防委員会委員長
金正日

2002年9月17日
平壤

がんばれ！平壤宣言

本

長山高之・著
故郷はるかなり

韓国の軍慰安婦に「謝らなければ」と、彼女が思った理由は？

吉岡 弘晴

戦争が終つて必死の思いで帰国する途中で佳子は二人の子どもを連れた女性を介抱します。しかし、その女性は佳子に子どもを託して死んでしまします。

佳子は自分の故郷には帰らず亡くなった女性の故郷で子どもたちと暮らすことになりました。そしてシベリア抑留から帰ってきた子どもたちの父親と結婚するのですが、彼も三年後に結核で亡くなります。やがて佳子は子どもたちの計らいで志摩半島の老人ホームに入ります。

ある日、彼女はテレビで日本政府に謝罪を求めて座り込んでいる韓国の元従軍慰安婦の中に、むかし同じ部隊の慰安所にいた人を見つけて心を痛めます。直ぐ飛んで行って彼女に謝りたいと思うのですが、そうすると自分の身元が分かり家族に迷惑をかけることになると悩みます。

そのような時に八島が佳子を探し出して訪ねてきます。八島は戦争中に佳子から手紙をもらってかみづつと従軍慰安婦の問題が心に引つかかっている、どうしても佳子から真相を聞きたいと思いつけていたのです。

ところが八島を見た佳子は「どなたでしたらう」と首を傾げます。老人ホームの職員の話によると、だいたい記憶力が減退しているとのことでした。

高知にいた頃に撮った二人の写真を見せたら「あなた、勇二さんなのね。佳子はながいこと待っていたのよ」と八島にすがりついてきました。勇二はむかし彼女の恋人だった人です。八島は仕方なくその日は勇二として応対して帰るのですが……。

このあとなぜ彼女が韓国の従軍慰安婦に謝らなければならないと思つたのかなど、幾つかの謎が解き明かされていきますが、そのへんはぜひ作品を読んでください。

いまに至つても従軍慰安婦の存在を否定する連中が「証拠を出せ」などと叫び立てていますが、彼らは終戦のどきどきに天皇制政府や軍部が沢山の機密書類を焼却したこと(注)に目をつむり、「旧日本軍の直接、間接の関与」を認めた一九九三年八月四の「河野洋平官房長官談話」を否定しようとしています。まさに悪あがきと言わざるをえません。日本人の私でさえ怒れるのですから当然国の人たちはもつと怒っていることでしょう。

外務省や防衛省などはまた機密資料として隠している証拠書類を全部公表し、誠心誠意謝罪し、補償すべきです。

(あいち年金者大学・文化誌「季刊ひやくさい」編集委員)

* (注) 『世界の歴史 日本』(毎日新聞社刊) 336頁

* 叢文社刊 定価 1500円+税

涙なしには読めない小説です。主人公が二人います。一人は戦争中から戦後レッドパージで職場を追われるまで高知市の路面電車の乗務員をしていた八島繁之。もう一人は川口佳子よしこ。彼女は、ある事情で高知の遊廓に身を落とし、旧満州で関東軍の従軍慰安婦になった女性です。

彼女から八島の許へ軍事郵便が届きます。そこには次のように認めた(した)められていました。

「この遊廓は住民の家を接収した粗末なものです。下士官以下の兵隊と将校用に分かれていて、わたしは将校相手、酒宴にもでお酒を注いだりしてまだましですが、兵隊相手のほうの女の子たち

はたいへんなんです。(中略)やがてその兵隊相手の女の子たちは、ほとんどが半島(朝鮮)出身の人だど気がつきました。満州の人も何人かいました。わたしはこんな若い恐らく素人だったろうと思う娘たちがどうしてこんな酷い仕事にと不審を抱いて聞いてみました。やはり騙されたり、強制的に連れてこられたそうで、わたしたちのように、うまい話にのせられたとはいえ自分の意思できた人は、誰もいなくなつたのです。とても気の毒ですが、わたしの力ではどうにもなりません。」

八島が再度封筒を確認したらちゃんと検閲済の判が捺されています。

再審請求へ

時を経て振り返る 早川・太刀川事件

(二)

柳田 常樹



田中首相 大平外相 木村外相
中野公使 高橋アジア局長 後富大使

納得のいく内容だった。

いるが、それを携えて、妻と兄公二が大平外務大臣に会いに行つたときに、外務省担当という記者の立場で仲介の労をとってくれたのも彼であった。感謝という気持ちを越えて、人のつながりの大切さを含め、めぐりあわせの幸を感じた。

「2、功を奏した初期の行動」のつぎ
当時、韓国語を研究する人は日本国内で皆無といつていいほどで、

その後も教授は専門的学者の立場として、大事なところで発言していた。

白羽の矢をたてる人がなかなか見つからなかった。そんな中、東京

これで彼が純粋に研究者として、語学研究をするために韓国へ渡つていたことを衆知させることができた。

教育学大（今の筑波大学の前身）の文学部に、それらしい教授がいる

きる可能性がでてきた。後はこれをどうマスコミ関係者に伝えて、人々に真意をわかってもらえるか

という情報が入る。河野六郎という言語学者だという。なんとそこ

は私達の母校だった。

は私達の母校だった。

青森に戻つて数日してから、NHKの夜のテレビニュースの中で、若い記者が数冊の本を抱えて現れて、アナウンサーと話しを始めた。その記者は、義兄がなぜソウル大で韓国語の

さつそく。私達は兄公二とともに

研究をしているのかを、私達が集めた資料を使って、とてもわかりやすい表現で語っている。私達救援活動をする者たちの意を汲んだ、誰でも

に出かけると、この事態を我々と

また、六月六日に、息子嘉春を取り戻してほしいと書いた父親の嘆願書と救援会が集めた約一万四千名の署名、その中には私達が青森県

同様に、重く受け止めてくれた教

メディアで話すにはまさにうってつけの人だった。

授は快く、コメントを書いてくれ

また、六月六日に、息子嘉春を取り戻してほしいと書いた父親の嘆願書と救援会が集めた約一万四千名の署名、その中には私達が青森県

た。その内容は

結果的には、その後の朴軍事政権の動きと重ね合わせた時、とても重要

「早川嘉春君は、日本の数少ない

研究者の一人として、今後の朝鮮語の研究に大いに期待している。」

というものだった。

実

「早川嘉春君は、日本の数少ない

研究者の一人として、今後の朝鮮語の研究に大いに期待している。」

というものだった。

実

「早川嘉春君は、日本の数少ない

研究者の一人として、今後の朝鮮語の研究に大いに期待している。」

というものだった。

実

★カット= 1974年の早川・太刀川事件当時の、政府対韓シフトの中核メンバー。外務大臣は同年7月16日、大平正芳から木村俊夫にかわつた。

な位置にあったということが明らかになっていった。それは軍事裁判の公判が、その直後の六月、七月と立て続けに四回も開催されたからだ。一見公正さを装いながら、その公判はそれでいてKCIAが作り上げたシナリオどおりに進められていった。それによれば、被告人二人は「自分達はスパイだ」と認めたと発表されていた。ありえないことだ。一説によると、その裁判そのものが、韓国国内で言論が徹底的に封じられ、この拘束が韓国として正当だというための対外的な演出だとも言われていた。

3. たくさんの人達に支えられて

青森市内に早川嘉春氏の妹がいるとわかると、東奥日報や河北新報といった地方紙や、全国紙の青森支局の記者達が、私達のところまで取材に来た。翌日の新聞には大きくそのことが掲載され、私達までも一躍時の人になってしまった。気づけば救援に奔走する私達のことを、暖かく見守り続けてくれた人達が周りにたくさんいた。

を明らかにする必要がある。しかし、その背景が複雑でわかりづらい。そこで、東京の兄公二へ「朝鮮半島情勢に詳しい人を紹介してほしい」と頼むと、評論家の藤島宇内という人を紹介してくれた。そこで、東京からわざわざ青森に来ていただいたが、六月二三日に彼の話がうかがったが、その内容は普段私たちが知ることのないものだった。

それは南北朝鮮の軍事的緊張の中で、今まで朴軍事政権が韓国内の民主化運動をどのように弾劾してきたのか、そしてどのような法律を根拠にしていたのかということだった。韓国には反共法や国家保安法という日本にはない法律があり、それはかつての治安維持法のようなもので、とりわけ北朝鮮からのスパイについては極刑を含む厳しいものだった。

そして、今までも事件の捏造によって多くの人達が処刑されたことを聞かされた。今回の事件も同じ法律によって拘束されたという。また、日本との関係も、一九六五年日韓基本条約が成立したことにより、日本からの経済援助として韓国へ、日本円にして総額五千億円という巨額

な資金が流れ込んだ。それが朴軍事政権を支えており、日韓政財界の癒着が韓国民の怨嗟の的になっていることも知らされた。

また田中総理と朴正熙大統領との個人的繋がりも話してくれた。さらにはこの地域におけるアメリカの存在の大きさとその役割についても話された。その中で、金大中事件にもふれた。アメリカは金大中氏を必要人物と評価していたため、直接救出に乗り出したという。具体的に金大中氏が船で韓国に連れ去られる途中、足におもりをつけられ瀬戸内海に突き落とされる寸前に不明機が飛んで来て照明弾を落すなどしたため、KCIAは彼の殺害をあときらめたと言われている。

その話を聞いたのは救援会の人達を中心に十数人だったが、私たちが知っていなければならぬ大切な内容のものだった。私達だけでなく、もっと多くの人を知ってもらおうということになり、勤務を終えたあと夜遅くまで何日もかかり、私がお話のテープから起こして文章化した。

「融和」に実

愛知県在日朝鮮人史道遥

第二十七回

協和会への道 (上)

西 秀 貞

在名内鮮融和団体連合会

一九三二年版の愛知県学務部社会課『愛知県社会事業要覧』(注1)には、次のようなことが書かれている。

本県下在住朝鮮人の数は大正五年(一九一六)末現在僅に六十四人に過ぎなかつたものが今日では五万四千を超過して大阪、東京に次ぎ全国三位の多数となり益々増加の傾向になる。本県は曩に大正十二年五月在住朝鮮人の増加に鑑みて在来の朝鮮出身者を以て組織していた民友会を解散させて、新たに融和親睦を目的とする相愛会を組織させ、之れが事業を行ふ事としてのであるが、諸種の事情の下に統制が紊れて幾多の小団体に分裂し、目下に於ては活発な活

動をなすものは極めて僅少である。

この記事が書かれたのは、三三年になってからのことであると思われるが、「名古屋新聞」三三年六月三〇日によると、現在三万人(うち名古屋市は一万四千余)あり相愛会、大同会、済(済の誤り)美会、敬愛教化団、その他クラブ組織のものをかぞへると二十八の団体に分裂し飯場制度の上に各々無料職業紹介所、無料宿泊所などを兼設してゐるが種々弊害が伴ふとして、社会課では朝鮮人団体の「合同統一」に乗り出した(注2)。

しかし、この政策は「多くの団体では合同絶対反対連合会組織は喜ばぬ有様で目下一頓挫の態」だとされている。その理由は

反対の主なるものは大正十二年(一九一三)相愛会愛知県本部

創立以来朴春琴氏が統率してゐたが、最近同氏と因縁浅かぬ林喜兵衛氏が会長となつたので従来政治上には白紙状態にあつた同会が選挙等の場合一党一派に利用されるのを恐れるもの、或は相愛会の過去に芳ばしからぬ実例もあるので、行為をもため結果であることされてゐる(同上)

相愛会には満足せず、別の道を歩いていたので、「二八団体」(同上)が出来たのであるから、すぐ「合同」といわれてもできなかつた。また、一九三二年に衆議院議員に当選した朴春琴は「純中立系」であつたのだが(注3)、愛知県では民政党と政友会の激しい闘争があり、それに巻き込まれないとすることも賢明な生き方でもあつたろう。

紹介事務の簡捷の要望の立場から合同賛成の者も相当ある」として近く代表者会で「賛成者のみを糾合して合同促進をはかる予定」だとしている。

一九三四年八月一七日午後八時から名古屋市に在住する「四十三団体」のうち融和系と称される十八団体の代表者が、名古屋普通学校(注4)に参集して、「討論の結果各団体の分離は相互に不利な所から大同団結して融和に実を挙げ」として「在名内鮮融和団体連合会」を結成することとなつた(「新愛知」一九三四年八月一八日)。

出席者のメンバーは相愛会長崔炳、愛国青年団長朴來壽などで、追つて会長を選定することとし、声明書と規約は朴承宅ら一五名の起草委員として、一九日委員会を決定して発表するといふ。

同紙は、「借家問題の解決や職業

他の警察署ではこのような朝鮮人の合同する団体を動きは確認されていないが、過渡的な団体が出る前に「協和会」の方がつくられた模様である(注7)。

(注1) 樋口雄一『協和会―戦時下朝鮮人統制組織の研究』一九八六年、社会評論社(引用した『要覧』一九三三年版は未見)。

(注2) 社会課と名古屋新聞に書かれたものとは、人口が大きく違っているが、協和会の資料によると一九三三年が三四八一九名、三四年が四二三九六名である。朝鮮銀行京城総裁席調査課「内地、支那各地在住の半島人の活動状況に関する調査」一九四二年、愛知県史・資料編33に所収。また、三四年七月、名古屋社会部も「市内に定住する朝鮮人を権威ある団体の統制下におくべく、在名朝鮮人を抱擁する既設各種団体および人口の分布状態を調査したが、それによると朝鮮人戸数三八八三、一八七二四人で、団体を四二としていた(新愛知、三四年七月二日)。(注3) 朴春琴の選挙については、松田利彦『戦前期の在日朝鮮人と参政権』一九九五年、明石書店、小熊英二「朝鮮生れの日本人」『日本人の境界』所収、一九九八年、新曜社など。

(注4) 当時、内鮮育美会が経営して

いた全国で唯一の私立小学校である。朴承宅が創設した学校が、名古屋市への援助で中区七本木町の旧商業学校跡地に移転していた。

(注5) 樋口前掲書、三三―四〇ページ参照。

(注6) 一九三二年二月に名古屋協和会が設立された。生活困難な朝鮮人の救済を目的にして、東区大曾根町に「融和会館」がつくり、一泊一〇銭で宿泊させるなどをおこなった。事務所は、名古屋公衆図書館(元三井銀行名古屋支店長が個人でつくった図書館で、二階には社会事業関係などの事務所がおかれた)内の協和会図書室に置かれた。会長は陸軍少将那須太郎で、理事には名古屋市会議員三名、愛知県方面委員三名が入り、評議員には名古屋市地方職業紹介事務局局長糸井謹治、愛知県社会事業主事大石三良、名古屋社会部長久住栄一などが並んだが、全員日本人だった。『名古屋新聞』三七年二月一九日には「名古屋協和会は協和会の別働隊」と書いている。なお、愛知県協和会が成立したのを機に名古屋親和会と改称して、東区田代町東畑に移転した。

(注7) 一九三七年当時の名古屋市内の鍋屋署以外の警察署は、新栄、笹島、門前、江川、熱田、築地、御器所、千種、名古屋水上にあった。

グーループ紙誌 拝見

●日中友好新聞・愛知県連版(二八四号)〔発行日日中友好協会愛知県連合会 二〇一二年九月五日)〕

●戦後世代の戦争責任とは「戦争展」ビーステージ、南元愛教大教授が講演：南さんは、戦後世代の戦争責任について語り「①罪はないことを明確にし、②同時に先輩が犯した加害としつかり向き合い、被害の痛みを心に刻まねばならない③二度と戦争を繰り返さないという責任を、アイデンティティーとして持つこと」と指摘。「このところ、真の誇りになって東アジアの平和な国際関係をつくる礎となる」と強調しました。

○日中不再戦の旗高く「県民の良心いま示すとき・大府中国人強制連行殉難者第四回追悼式典にご参

加を ……石川賢作

○中国人留学生の就職活動経験交流座談会(下) ……ほか

●会報あゆち(二四五号)〔発行日愛高教退職者の会 二〇一二年九月一日)〕

○日本の平和が脅かされている今、「戦争展」の持つ意義は大きい：高田編弁護団長中山武敏弁護士との「政

府、財界が推進し、事故を起こして原因も責任もあいまいま再

起動する原発と政府の指導で国民を巻き込み、民間人を切り捨てる

東京大空襲の問題は同じ」

○「憲法を活かす(四五) 南京事件をめぐる一九四五年ベルリン

……秦 達之

○「老いを生きる」わが家の浮世風呂 舟歌ならぬ風呂歌。最近の

作例の一。「政府は、北朝鮮の核兵器で騒いでいるけれど、それなら、

なぜ日本海側に沢山の原発を造っているのかな？」 ……海保 孝

……鈴木 仁 選

……ほか



「士禍」の新旧両班の政権争い

王朝百年、儒教体制は成熟し、地方の士大夫、新しい両班(ヤンバン)たちの中央政界入りが始まる。この新進の両班学者たちを「士林(儒林)」と呼ぶ。

ここに建国の功臣、その子孫の大貴族・勲旧両班との間に政権争いが生ずる。勲旧派は二四九八年、一五〇四年、一五一九年、一五四五年の四回にわたって士林派に大弾圧を加えた。これを「士禍」という。

簀笠つけて 小ぬか雨鎌を手に
山田の草刈りて 木かげに休めば
牧童の牛追い声 うたた寝をさ
ます

金宏弼(キム・グエンピル)
【註⑬】

⑬

〔寒暄堂〕
한원당 김 필필
샷갓에 도롱이 입고 細雨中에 호미 메고
山田을 흠매다가 綠陰에 누웠으니
牧童이 牛羊을 몰아 잠든 나를 깨와다

第一次の士禍に流配された、金宏弼の時調で、農村生活をうたっている。金宏弼の師の金宗直(嶺南学派)は当時すでに死んでいたので「割棺斬屍」となった。

第二次の士禍の時に、金宏弼は燕山君によって追罪され死に処せられる。士林の台頭と中央政界への進出、その間の約五〇年、士禍があつたが、ついには士林の勝利に終わる。朝鮮王朝は名実共に文治主義の政治を実現させた。両班によるね知識人政治が体制化する。

夢の中 曾子に孝道を 問えば
曾子笑いて ああ小子よ知るが
良い
孝の道はひたすらに敬う心にある
趙光祖(チヨ・グアンジヨ)

第四次士禍にて死に追いやられた名儒。韓流の人氣時代劇『女人天下』に登場する。中宗王に、儒教による真の王道政治の実現を迫るその改革を進めるが、勲旧派はその地位の消失を恐れて、趙光祖

に王位を狙う逆心ありと事件をデッチあげる。あの有名な李舜臣將軍(一五九二年壬辰戦争の英雄)の祖父もこの士禍に連座して野に下る。士林の台頭と中央政界への進出、その間の約五〇年、士禍があつたが、ついには士林の勝利に終わる。朝鮮王朝は名実共に文治主義の政治を実現させた。両班によるね知識人政治が体制化する。朝鮮時代の憲法『經国大典』が一四八五年に頒布された。一三九四年、鄭道伝が上程した『朝鮮國經国典』以来の法典の完成だ。両班知識人の政治は、軍人に対する文人の優位、王宮女性の力(大奥)、事務官僚、宦官の力を抑え込んだ。儒学理論の政治体制化の高到達であつた。趙光祖のよつて立つ「道学」とは

『中庸』の「天命を性とし、性に従うことを道と言ふ」。道学政治とは、君主が社会の安定と民の幸せのために己を身がきて磨きて、国を治める。すなわち彼の理念は、「為民」「愛民」の道学政治であつた。したがつて、勲旧派の大土地所有、税制の矛盾、軍役の加重などによる、民の疲弊に我慢ならなかつた。

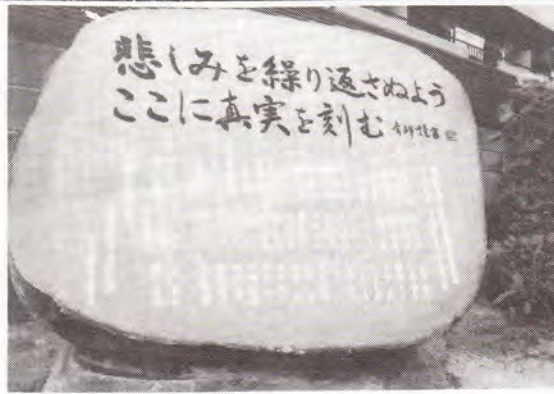
同時に民を教育するために『小学』をハングルに翻訳し、普及させるのに力を尽した。朝鮮王朝史に残した趙光祖の足跡は大きい。今こそ朱子学は古くさい学問にすぎないが、宋代社会では「經世済民」の実用主義的見地に立つ、唐代に比べると進歩的な性質を加えた。朝鮮王朝においても、当初それは同様に進歩的な役割を持つた。

勸学の詩 (宋の真宗皇帝)
美しい妻がほしいならば、読書するがよい
花のような娘が書中にいる
すばらしい郎がほしいならば読書するがよい
書中には郎もある

〔四書五經〕竹内照天・平凡社

東南海地震追悼記念碑

1944年12月7日、午後1時36分発生した東南海地震により、旧三菱重工名古屋航空機製作所道徳工場(日清紡績名古屋工場を転換)が倒壊。犠牲者57名の名を刻む。1988年12月に日清紡績内に建立。2012年、名南ふれあい病院(名古屋南区豊田5-15-18)構内北側花壇に移設。【写真】山盛富高氏



移設・除幕

東南海地震追悼記念碑

真実刻みつづけて

日清紡跡↓名南ふれあい病院敷地

『悲しみを繰り返さぬようここに真実を刻む』のいしぶみでお馴染みの東南海地震犠牲者追悼記念碑が諸般の事情で、このほど日清紡績名古屋工場構内から医療法人名南会名南ふれあい病院敷地内に移設されることになった。

十一月初旬には、一九八八年の同碑建立にかかわった関係者、新しく決まった同碑管理団体関係者らが列席して、移設・除幕式を予定している。

同碑は、三菱重工業名古屋航空機製作所道徳工場に動員されていた朝鮮女子勤労挺身隊犠牲者6名の名も刻んでいることから、名古屋と韓国光州市民との絆をその後強めたこともあり、移設・除幕式には光州市の公職者・市民団体関係者も参列したいとの意向が示されている、という。

ご案内

FAR 第五回 勉強会

テーマ 朝鮮の色「丹青(タンチョン)」

講師 鳥居 恵子 さん (県立岡崎東高校非常勤講師・FAR理事)

朝鮮の伝統的な建築物に施されている美しく荘厳な装飾を「丹青(タンチョン)」と言い、使われている色は、陰陽五行の思想をもとにして青・赤・黄・白・黒の五色で、それぞれ木・火・土・鉄・水を象徴しています。今回はこの「丹青」の成り立ちや意味などを解りやすくひも解いてみたいと思います。

日時 十月十三日(土) 夕方6時

場所 名古屋国際センター 四階第三研修室 (名古屋市中村区那古野一・泥江(ひじえ)町交差点東北角のビル)

資料代 会員五百円・一般六百円

主催 FAR・勉強会実行委員会

この日の勉強会山腹に
小さくお座敷が並びます!!
恵民たちは星をまき上げながら
楽器をまきで歌いあげました!!

みんもの広場
10月の広場

朝 鮮 の 民 話

夜 の 広 場
2012年10月20日(土) 午後7時~

昼 の 広 場
2012年10月21日(日) 午後1時~

名古屋市女性会館ホ-ル (地下鉄名城線・東別院駅 徒歩5分)
前売り1500円 当日2000円(18歳以下1000円) (後援:名古屋)

表紙 三浦雅子